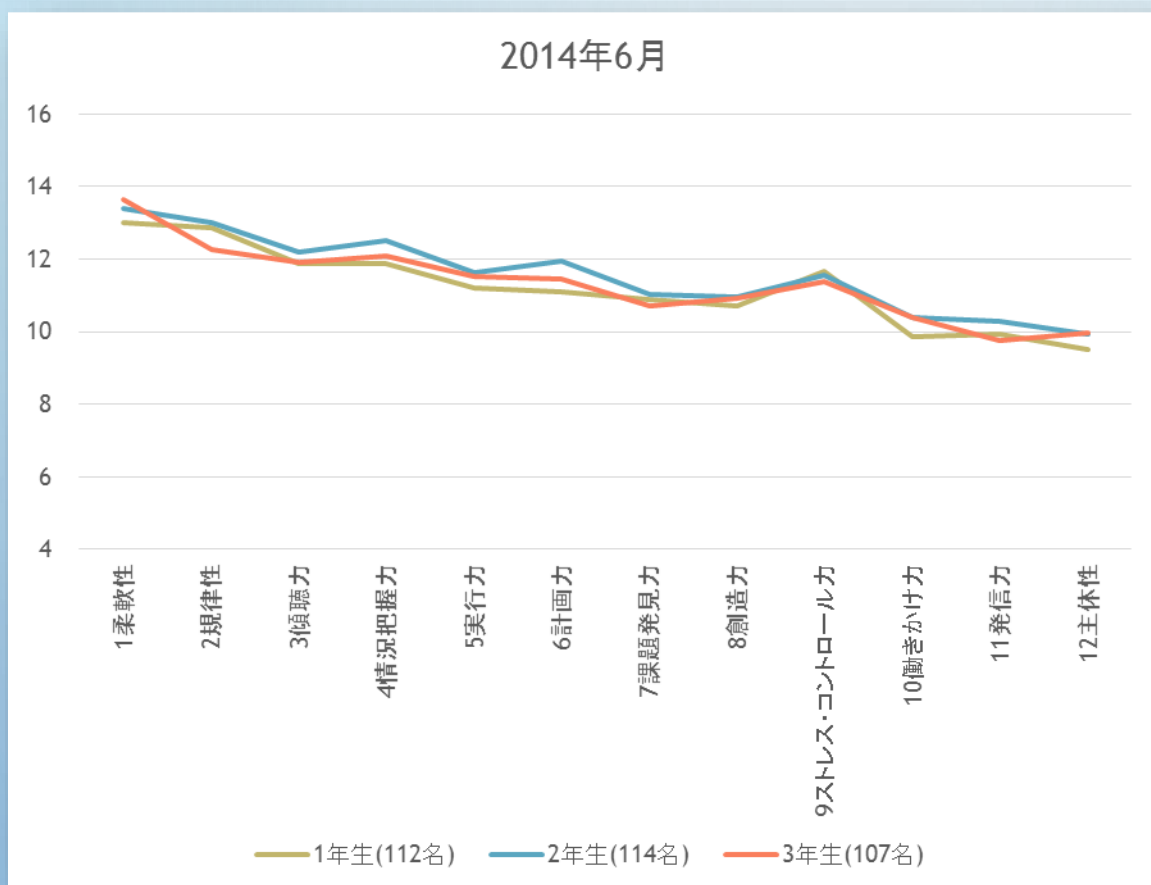


Eマップニュースレター No.002

2014.7.23

	1柔軟性	2規律性	3傾聴力	4状況把握力	5実行力	6計画力	7課題発見力	8創造力	9ストレス・コントロール力	10働きかけ力	11発信力	12主体性
1年生(112名)	13.02	12.88	11.88	11.88	11.21	11.10	10.88	10.72	11.66	9.88	9.94	9.52
2年生(114名)	13.40	13.01	12.20	12.53	11.63	11.96	11.02	10.95	11.57	10.39	10.29	9.95
3年生(107名)	13.64	12.28	11.91	12.10	11.52	11.44	10.72	10.93	11.36	10.38	9.75	9.97

※ 緑（高い）－赤（低い）



2014年6月のEマップ学年別平均点（補正点含まない）を示したものです。

・これはあくまでもみなさんの自己評価をそのまま集計したものです。この数値とみなさん自身の得点を比べても、みなさんの客観的な能力の優劣がそのまま分かるわけではありません。

・他の人の自己評価に比べて、みなさんの自己評価が高いのか、低いのかを見た上で、その理由について考えると今後の目標へのヒントになります。

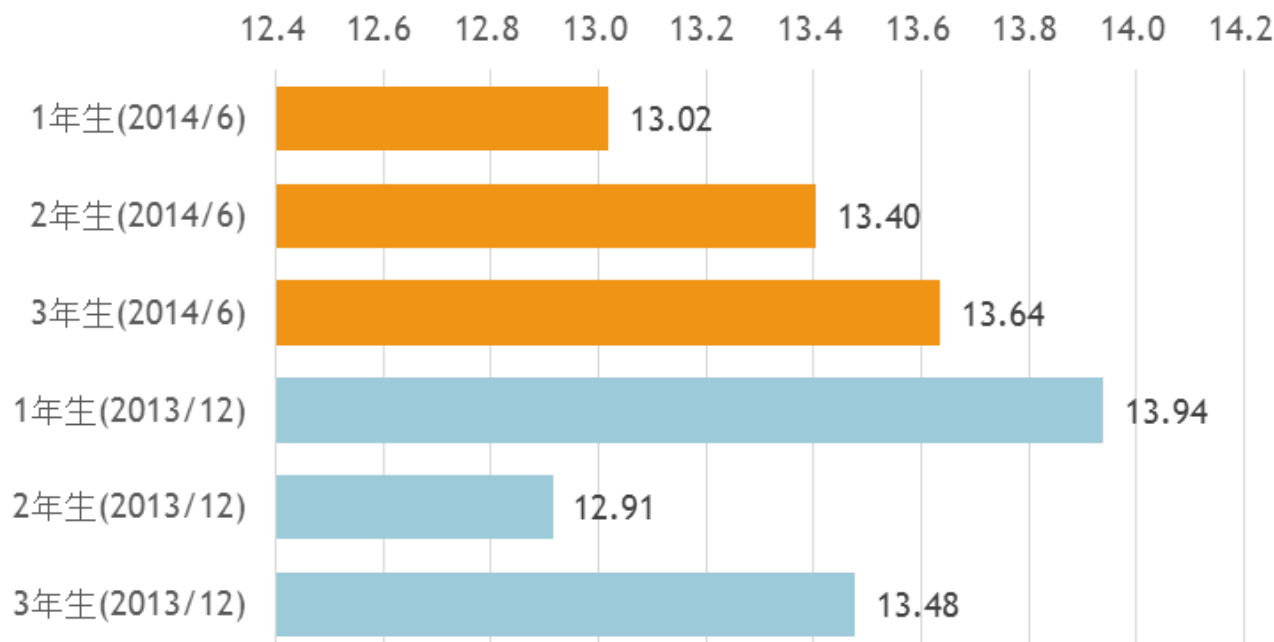
今回の結果を見ると、前回と比べて学年の違いはあまりありません。

・従来の結果同様に、柔軟性、規律性、・・・、発信力、主体性、というように高い数値の能力要素から低い数値の能力要素まで順に並んでいます（この能力要素の順序は数年前のEマップ高得点の順で決めたものです）。これは平均で見ると能力要素の発揮しやすさの順序は数年前とあまり変わっていないことを示しています。

・ただし、ストレス・コントロール力は唯一上の順序から外れています。この能力の発揮しやすさは、実行力もしくは計画力と同水準と見ることができます。

トピックス①：柔軟性について前回との比較

柔軟性：前回との比較



柔軟性について、前回(2013年12月)の結果と比較しました。

・柔軟性については、従来から点数が高めに出る傾向がありました。私たちはこの原因が設問文に曖昧な表現があったためと考え、今回、設問文の修正を行いました。

・図では、同学年で比較すると1, 3年生は昨年より減少していますが、2年生はむしろ増加しました。これだけでは確実なことは言えませんが、今回の設問文の修正が大幅に結果に影響するという事は無かったようでした。

トピックス②：前回との総合比較

今回と前回の総合比較を行ってみました。(比較しやすくするために「主成分分析」という方法を使っています。)

・横軸 (Comp.1) は各能力要素の難易度をあらわしています。ほぼ順番どおりに能力要素が並んでいます。縦軸 (Comp.2) は横軸とは違う特性を示しています。この図で互いに近い能力要素は互いに似通っていることがわかります。例えば「主体性」を伸ばしたいときは、難易度の少し低い「働きかけ力」に力を入れてみましょう。

・学年平均の比較では、どの学年も全体的に左方向に矢印が向いていることがわかります。学部の全体的な雰囲気としては、良く言えば、規律正しく、柔軟性が高く、状況把握力に優れているということですが、悪く言えば他人に合わせる人が多いということになります。

